

# 2015年6月15日 但馬・丹後漫遊記

## ■出発

大 学時代の同期生と一緒に、丹後へ旅行した。その旅行記を「但馬・丹後漫遊記」と題してお送りすることにしよう。関西地区の、福良さん、以下4名が幹事役として観光バスの手配、宴会の準備を行ってくれた。各地の旅行好き、騒ぐの大好きな同期生31名が、新大阪にあつまり、新大阪から観光バスで出発。  
 出発すると酒好きの多いこともあり、早速ビールがまわされ、元氣よく出発。

## ■出石と玄武洞

出 石は、碁盤の目に整備された町が残り、「但馬の小京都」として名高い城下町。古くは応仁の乱の一

方の有力者、山名氏の城下町として栄えた。高台にある出石城跡に登ると、その美しい町並みが眼下に広がる。



賞味し、散策後、玄武洞にむかう。

江戸時代、信州上田から転封した仙石氏により伝来した出石そばは町の名物で、小皿に盛られたそばのコシと風味が格別。出石焼や出石ちりめん、出石たくあんなどの特産品も人気が高い。昼食の名物の皿蕎麦を



## ■玄武

玄武洞は160万年前に起こった火山活動によって、山頂から流れ出したマグマが冷えて固まる時に規則正しいきれいな割れ目を作り出した物です。

六千年前、波に洗われて姿を現し、人が石を取ったために洞となったもので、数知れない六角形の玄武岩が積み上げられて不思議な美しさを見せている。

## ■城崎温泉

並 木が連なる大谿川沿いに温泉街が延び、90軒もの旅館やホテルが建ち並ぶ名湯が今夜の宿。怪我の保養中に名作『城

の崎にて』を書いた志賀直哉など、多くの文人に愛された。情緒をかもし破風屋根の『一の湯』をはじめ、七つの外湯をめぐれるのも城崎ならではの。宴会前に内湯を浴びて、宴会終了後、外湯めぐりを楽しむ。湯上りにまた一杯と飲兵衛どもは酒盃を手放さない。



### ■伊根の船屋

伊 根湾に沿って建ち並ぶ約230軒ある舟屋は、1階が船のガレージ、2階が居間となった独特な建物です。後背には山地が迫り、海から眺めると、まるで海に浮かんでいるかの様に見えます



### ■天橋立

天 橋立は日本三景の一つ、古風土記では「イザナギの命は、天上から地上に通うために梯子をかけました。この梯子を天浮橋と名づけ、天上と地上を往来しました。  
ある時、地上におりたイザナギの命がうっかり一夜をすごしてしまつたうちに、天浮橋は地上に倒れてしまいました。天浮橋は天橋立となり、天上の神々と地上の人間を結ぶ梯子はなくなつてしまつた」との記録があるという。  
文珠山山頂からの、股のぞきが有名、山頂まではリフトかケーブルカーで上がれる。

